



 お配りする「苗木の育成キット」の内容です。

- ☐ 広葉樹種子（コナラ、クヌギ、クリ、ミズナラ、ブナ、サクラなど）
- ☐ 育苗ポット（4号鉢）培養土が既に入っています ： 要望数
- ☐ 育苗トレイ ： 要望数のポットが入る分
- ☐ 肥料（緩効性） ： （1ポット当たり約5g/回）
- ☐ 苗木の育て方（「苗木の育て方」のしおり） ： 1部
（※ このしおりです。）

① 配布されたポットには土が入った状態です。

- ポットの高さの8～9分目くらいまで土が入っています。（入れすぎると、土がこぼれたり、水やりのときに水があふれたりしてしまうためです。）
- ポット内の土は、あらかじめ肥料の入った培養土を使っていますので、この時点では肥料は使いません。

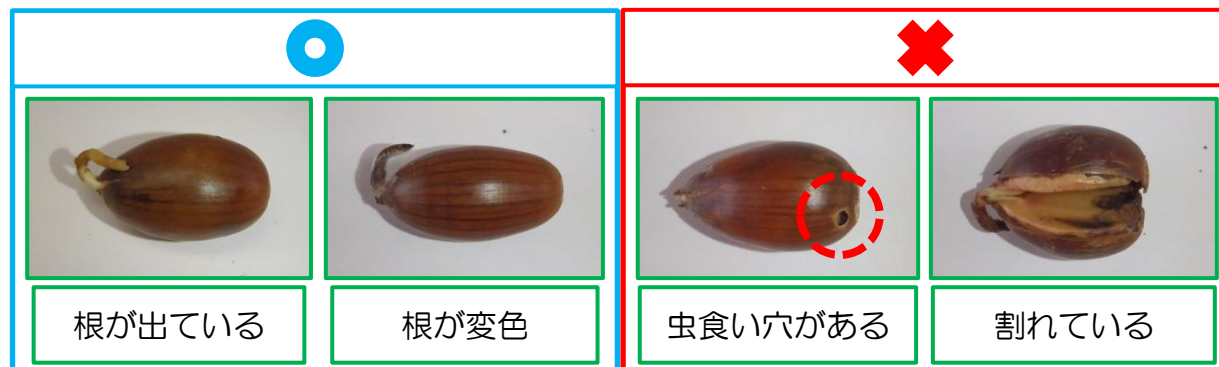


② 種を植えます。

- 種を確認・選別します。

水に沈めて選別し、冷蔵保存しておいた広葉樹の種をお配りしておりますが、再度確認してください。

下図はドングリの場合

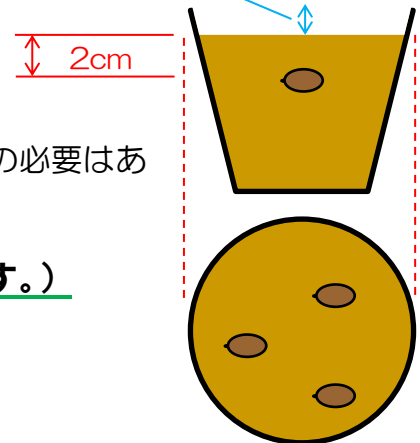


なお、根が伸びたもの、根が茶色く変色したものもありますが、問題ありません。
また、植え付け中に根が取れたり折れたりしても大丈夫です。(根はまた生えてきます。)

- 土の表面から2cmほどの深さに穴をあけ、種を ウォータースペース 横向きで植えます。

- 1ポットに2～3個程度の種を植えて、土をかけてください。

⚠ このあと、最後までこのポットで育て上げます。移植の必要はありません。



③ ポットの置き場所を決めます。(基本的には屋外です。)

- 日当たりの良い場所。☀
- 風通しの良い場所。
- 水はけの良い場所。

⚠ ポットの置き方にご注意ください。

- ① 土の上に直接置くと、地中に根を張り、他の場所に移動できなくなることがあります。

また、コンクリートの上に直接置くと、夏場に直射日光が当たる場所などでは、地熱で焼けてしまいます。

⇒ 棚やレンガ、ブロック、裏返した育苗箱の上に載せるなど、地面から浮かせた状態にしましょう。(写真のとおり。シートの上でも可。)



- ② 夏季は、乾燥を避けるために半日陰に置いてください。

- ③ 冬も屋外に置いて構いませんが、屋根から雪が落ちる軒下などは避けてください。

2. 苗木を育てましょう。(令和7年(2025年)11月～)

① 水やりをします。

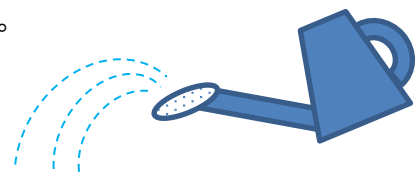
苗木の成長に水は欠かせません。たっぷりと水をやります。
水やりのタイミングは、以下のとおりです。

- 土の表面が乾いている。
- 葉や新芽の先端がしおれている。

⚠ 夏は高温・乾燥期なので、水やりが必要かどうか、毎日チェックしてください。

⚠ 水のやりすぎは、根腐れの原因になります。土が乾かないうちに水をやることは避けましょう。

⚠ 長期休暇(特に夏休みなど)の場合は、当番を決めておくなどして、水やりを忘れないようにしてください。



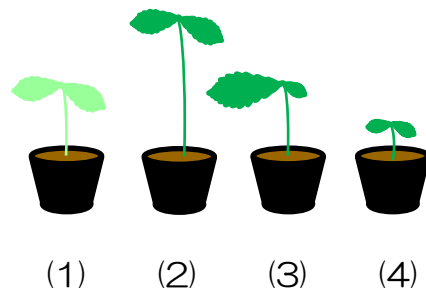
② 間引きをします。

芽が2本以上出たら、成長の良いものを1本だけ残して育てます。1年目の秋を目途に、下記のような苗木を間引いてください。

- 貧弱なもの。 … (1)
(緑色が薄く、弱々しいもの。)
- 徒長したもの。(長く伸びすぎたもの。) … (2)
- 葉のバランスが悪いもの。 … (3)
(左右の葉が不揃いのもの。)
- 成長が遅く、育ちが悪いもの。 … (4)
“丈夫な苗”は、根がしっかりと発達するので、ポットに手を添えずに苗の根元を持って軽くゆすってもグラグラしません。(丈夫でない苗木は、簡単に抜けてしまいます。)



間引きする苗木の例



③ 肥料をやります。(施肥)

令和8年(2026年)6~7月頃に、配布した肥料を1ポットあたり小さじ1杯(約5g)程度撒いてください。
緩効性肥料のため効果は長続きします。



3. 苗木を育てあげたら…(令和10年(2028年)春ごろより)

皆さんで植樹してあげて下さい。

育成期間が終わりましたら、皆さんで植樹をしましょう。
植樹場所がない場合はご相談ください。他で活用するために回収させていただきます。

Q & A (よくある質問)

Q1. 苗木はどれぐらいの大きさになりますか。

⇒ A1. 2年半の間に、50~70cm前後の高さまで育ちます。

Q2. 冬に葉が落ちてしまったのですが、大丈夫でしょうか。

⇒ A2. 大丈夫です。枯れたわけではありません。春になれば、また葉が出てきます。

Q3. 虫が付いたり葉の色が変わったりしたら？

⇒ A3. 毛虫やイモムシが付いたら、取り除いてやってください。
他にも、葉の色が変わったり斑点(はんてん)が出たりすることがあります。
あまり気にする必要はありませんが、気になるようでしたらご相談ください。



《 問い合わせ先 》



(公社)富山県農林水産公社内
TEL : 076-441-6196
FAX : 076-432-7086
E-MAIL : saposen@taff.or.jp

■ 苗木育成の大まかな流れ

		1年目（～R8.3） （～2026年3月）						2年目（R8.4～R9.3） （2026年4月～2027年3月）												3年目（R9.4～R10.3） （2027年4月～2028年3月）												4年目（R10.4～） （2028年4月～）			
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
		秋			冬			春			夏			秋			冬			春			夏			秋			冬			春			
苗木の状態																																			

※ 苗木の成長に「水」は欠かせません。「**水やり**」は1年を通じて（冬の間も）**必要な作業**です。

- ☐ **土の表面が乾いたら**、鉢の底から流れ出るほど**“たっぷり”**と水をやります。
- ☐ 土の表面が乾く前に水を与えたり、水はけの悪いところに鉢を置いていたりすると、根腐れを起こしてしまいますので、注意してください。
- ☐ **夏は高温・乾燥期なので、毎日**欠かさず土の表面を**チェック**してください。